

提出日：平成 21年8月3日

第6回「情報活用型授業を深める会」参加報告書

窪 俊一（東北大学大学院情報科学研究科 准教授）

場所
せんだいメディアテーク 7F スタジオ
日程
第6回 2009年8月2日（日）14時30～17時30分
大学参加者
関本英太郎（教授）・窪俊一（准教授）・篠沢和久（准教授）・櫻井みや子（学生）
出席者数
約20名
目的
情報活用型授業に関する現場での取り組みや最新の動向について勉強する
概要および成果
【概要】 <p style="text-align: center;">第6回 <情報活用・情報モラル授業について></p> <p>(1) 「教育の情報化に関する手引き」を読んでみよう！ 「学習指導要領」における「教育の情報化」とは何か 「教科指導における ICT 活用」について 「情報教育の体系的推進」について</p> <p>(2) 情報活用に関するミニ授業検討ワークショップ 仙台市立松陵西小学校・日野加奈子先生 「NHK 伝える極意でおもてなしインタビュー」 仙台市立向陽台小学校・児玉奈美先生 「新聞づくりで記事の型にこだわってみた」 仙台市立長命ヶ丘小学校・阿部英徳先生 「フィルタリングから学ぶ調べ学習のルール」 名古屋市立熊の前小学校 野村雅紀先生 「低学年からはじめる情報モラル」</p> 【成果】 「教育の情報化」という場合、「情報教育」という広い意味での情報社会を生きるための力を教えること、「ICT 活用」という授業で ICT 機器を使用した授業、そして「校務の情報化」という3つの側面を持っている。「教育の情報化に関する手引き」においては、教師の ICT 活用が求められているだけでなく、それによって児童の情報活用能力の育成・学力向上につながるものと期待されている。また、ICT の基本的スキルは小学校のうちに身につけることが求められており、その前提で中学校の情報教育が構成されていることが分かる。

後半のワークショップでは、具体的な情報教育が提案されていて興味深かった。メディアの特性をふまえた新聞作り、父兄を巻き込んだ情報モラルの授業など今求められている情報教育の一つの形ではないかと思われる。